

OS と Starter Pack の対応

(NX7700x/A8010E-2, A8010E-2c, A8012M-2 向け)

対象モデル名	対象型番
A8010E-2	NE3300-271Y/-272Y
A8010E-2c	NE3300-274Y/-275Y/-274L
A8012M-2	NE3300-521Y/-522Y/-521L/-522L

OS と Starter Pack について

NX7700x/A8010E-2, A8010E-2c, A8012M-2(以下「サーバ」)は、Starter Pack のバージョンによってサポート可能な OS が変わります。今後、Starter Pack のリリースに伴い、本書も更新いたしますので、リリースサーバーの安定稼動のため、本書および関連資料に記載する手順に従い、使用する OS に対応した最新の Starter Pack を適用してください。

OS インストール準備および Starter Pack の適用

OS インストール準備

1. 「**1 OS と Starter Pack 対応表**」
インストールする OS に適合する Starter Pack バージョンを確認します。
2. 「**2 サーバに適用する Starter Pack バージョンの確認**」
サーバに適用する Starter Pack バージョンを確認します。
工場出荷時に初めて OS をインストールする場合とそれ以外の場合(使用 OS を変更する)で手順が異なります。

Starter Pack の適用

3. 「**3 Starter Pack 同梱のファームウェアおよび EXPRESS BUILDER の適用**」
手順 2 で確認したバージョンの Starter Pack を使用してファームウェアおよび EXPRESS BUILDER を適用します。
ただし、既にインストールする OS に適合する Starter Pack バージョンが適用されていれば、適用は不要です。手順 4 に進んでください。
4. 「**4 OS のインストールおよび Starter Pack(ドライバー、バンドルソフトウェア)の適用**」
OS の種別(Red Hat Enterprise Linux / VMware ESXi/ESX /Windows Server/)毎に手順が異なります。
インストールする OS に合わせて手順を参照してください。

1 OS と Starter Pack 対応表

Starter Pack のバージョンによって、サポート可能な OS が変わります。
下記の表から、利用 OS に対応した Starter Pack を確認してください。
モデルによりサポート OS が異なります。詳細は下記 URL をご参照ください
URL: <https://jpn.nec.com/nx7700x/support/index.html>
→OS サポート情報

		Starter Pack バージョン		
		S8.80-007.01	S8.80-007.02	S8.80-007.03
対応 OS				
Windows Server	2022	✓	✓	—
	2025	✓	✓	—
VMware ESXi/ESX ※2	8.0 update 3 ※1	✓	✓	—
	9.0	✓	✓	—
	9.1	—	—	✓
Red Hat Enterprise Linux	9.6	—	✓	—

※1 サポート対象バージョンは ESXi 8.0 update 3e(Build 24674464)以降です。

※2 「TPM Visibility」(*A)を「Visible」に設定される場合は、OS インストール時に生成される Recovery Key を保管するようにしてください。Recovery Key は、「TPM 2.0 Operation : Clear」(*B)設定による TPM 内部情報のクリアや、保守対応時に必要となります。

(*A) BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Server Security > Trusted Platform Module Options> Advanced Trusted

Platform Module Options > TPM Visibility

(*B) BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Server Security > Trusted Platform Module Options > TPM 2.0 Operation

Recovery Key の詳細については、以下の Broadcom 社のドキュメント(セキュアな ESXi 構成の管理 - セキュアな ESXi 構成のリカバリ)をご確認ください。

- ESXi 8.0: <https://techdocs.broadcom.com/jp/ja/vmware-cis/vsphere/vsphere/8-0/vsphere-security-8-0/securing-esxi-hosts/securing-the-esxi-configuration/managing-a-secure-esxi-configuration.html>

- ESX 9.0: <https://techdocs.broadcom.com/jp/ja/vmware-cis/vsphere/vsphere/9-0/vsphere-security/securing-esxi-hosts/securing-the-esxi-configuration/managing-a-secure-esxi-configuration.html>

- ESX 9.1: <https://techdocs.broadcom.com/jp/ja/vmware-cis/vsphere/vsphere/9-1/vsphere-security/securing-esxi-hosts/securing-the-esxi-configuration/managing-a-secure-esxi-configuration/list-the-contents-of-the-secure-esxi-configuration-recovery-key.html>

補足事項

- サーバ(N 型番)および Starter Pack 製品(UL 型番)は、ご注文時の最新バージョンの Starter Pack、EXPRESSBUILDER が適用、収録され出荷されます。過去のバージョンの Starter Pack は、NEC Web サイトよりダウンロードしてください。
サーバの保証期間内および保守契約期間であれば無償でダウンロードできます。
ダウンロード先: https://jpn.nec.com/nx7700x/support/patch_a801x.html

2 サーバに適用する Starter Pack バージョンの確認

サーバに適用する Starter Pack バージョンを確認します。工場出荷時に初めて OS をインストールする場合とそれ以外で手順が異なります。

- 工場出荷後に初めて OS をインストールする場合は、A.1 に進みます。
- それ以外の場合
 - OS をクリーンインストールする場合は、B.1 に進みます。
 - OS をインプレースアップグレードする場合は、担当の NEC 営業へお問い合わせください。

A.1 別紙「本体装置出荷時に適用された Starter Pack バージョンの判別方法」を参照して、本体装置出荷時に適用されている各種ファームウェアバージョンから Starter Pack バージョンを判別してください。

尚、複数の Starter Pack バージョンに一致する場合があります。その場合は、一致する複数の Starter Pack バージョンに適合していることになります。

別紙掲載 URL:

<https://jpn.nec.com/nx7700x/support/manual/a801x.html>

A.2 手順 A.1 で確認したバージョンと手順 1「**1 OS と Starter Pack 対応表**」で確認したバージョンの内 OS がサポートする最新のバージョンがサーバに適用する Starter Pack バージョンです。

B.1 手順 1「**1 OS と Starter Pack 対応表**」で確認したバージョンの内 OS がサポートする最新のバージョンがサーバに適用する Starter Pack バージョンです。

3 Starter Pack 同梱のファームウェアおよび EXPRESS BUILDER の適用

既にインストールする OS に適合する Starter Pack バージョンが適用されていれば、適用は不要です。
手順 4「**4 OS のインストールおよび Starter Pack(ドライバー、バンドルソフトウェア)の適用**」に進んでください。

それ以外は、手順 2「**2 サーバに適用する Starter Pack バージョンの確認**」で確認した Starter Pack を使用してファームウェアおよび EXPRESS BUILDER を適用します。

Starter Pack 掲載 URL の各バージョンのダウンロードページに記載された手順に従って適用してください。

Starter Pack 掲載 URL: https://jpn.nec.com/nx7700x/support/patch_a801x.html

4 OS のインストールおよび Starter Pack(ドライバー、バンドルソフトウェア)の適用

OS の種別毎に手順が異なります。インストールする OS に合わせて手順を参照してください。

OS に対応する説明書は、「OS と説明書の対応表」を参照してください。

- Red Hat Enterprise Linux の場合は、インストールガイド(Linux 編)と Starter Pack 掲載 URL の各バージョンのダウンロードページに記載された手順に従って OS のインストールおよび Starter Pack(ドライバー、バンドルソフトウェア)の適用をしてください。
- VMware ESXi/ESX の場合は、仮想化環境準備項目一覧と Starter Pack 掲載 URL の各バージョンのダウンロードページに記載された手順に従って OS のインストールおよび Starter Pack(ドライバー、バンドルソフトウェア)の適用をしてください。
- Windows Server の場合は、Starter Pack 掲載 URL の各バージョンのダウンロードページに記載された手順に従って OS のインストールおよび Starter Pack(ドライバー、バンドルソフトウェア)の適用をしてください。

OS と説明書の対応表

対象 OS		説明書		
		本書	インストールガイド (Linux 編)	インストールガイド (Windows 編)
Red Hat Enterprise Linux	9.6	✓	✓	
VMware ESXi/ESX ※2	8.0 update 3 ※1	✓		✓
	9.0	✓		✓
	9.1	✓		✓
Windows Server	2022	✓		✓
	2025	✓		✓

※1 サポート対象バージョンは ESXi 8.0 update 3e(Build 24674464)以降です。

※2 「TPM Visibility」(*A)を「Visible」に設定される場合は、OS インストール時に生成される Recovery Key を保管するようにしてください。Recovery Key は、「TPM 2.0 Operation : Clear」(*B)設定による TPM 内部情報のクリアや、保守対応時に必要となります。

(*A) BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Server Security > Trusted Platform Module Options> Advanced Trusted

Platform Module Options > TPM Visibility

(*B) BIOS/Platform Configuration (RBSU) > Server Security > Trusted Platform Module Options > TPM 2.0 Operation

Recovery Key の詳細については、以下の Broadcom 社のドキュメント(セキュアな ESXi 構成の管理 - セキュアな ESXi

構成のリカバリ)をご確認ください。

- ESXi 8.0: <https://techdocs.broadcom.com/jp/ja/vmware-cis/vsphere/vsphere/8-0/vsphere-security-8-0/securing-esxi-hosts/securing-the-esxi-configuration/managing-a-secure-esxi-configuration.html>

- ESX 9.0: <https://techdocs.broadcom.com/jp/ja/vmware-cis/vsphere/vsphere/9-0/vsphere-security/securing-esxi-hosts/securing-the-esxi-configuration/managing-a-secure-esxi-configuration.html>

OS と Starter Pack の対応

NX7700x/A8010E-2,A8010E-2c,A8012M-2 向け

- ESX 9.1 : <https://techdocs.broadcom.com/jp/ja/vmware-cis/vsphere/vsphere/9-1/vsphere-security/securing-esxi-hosts/securing-the-esxi-configuration/managing-a-secure-esxi-configuration/list-the-contents-of-the-secure-esxi-configuration-recovery-key.html>

各説明書は下記より入手してください。

- インストレーションガイド(Linux 編) : <https://jpn.nec.com/nx7700x/support/manual/a801x.html>
- 仮想化環境準備項目一覧 : <https://jpn.nec.com/nx7700x/support>
- インストレーションガイド(Windows 編) :

Starter Pack 掲載 URL からサーバに適用されている Starter Pack バージョンと同じバージョンを選択し、掲載されているインストレーションガイドを入手してください。

Starter Pack 掲載 URL : https://jpn.nec.com/nx7700x/support/patch_a801x.html

(参考) iLO7 のファームウェアバージョン確認方法

iLO7 ファームウェアのバージョンを確認する方法は下記 3 通りあります。いずれかを実施します。

- サーバの System Health Summary 画面で確認する方法
 1. サーバにディスプレイとキーボードを接続してください。
 2. サーバの AC 電源を ON にしてください。
 3. [Server Health Summary]画面を表示するため、サーバ前面の UID ボタンを押し、UID をオンにします。
注意事項: 5 秒以上押し続けると iLO の再起動が開始されるため、長押し操作は行わないようにお願いします。
 4. サーバが接続されたディスプレイ上に[Server Health Summary]画面が表示されます。画面上に表示される『iLO Firmware』の項から、iLO ファームウェアのバージョンを確認してください。
 5. [Server Health Summary]画面を閉じるため、サーバ前面の UID ボタンを押し、UID をオフにします
注意事項: 5 秒以上押し続けると iLO の再起動が開始されるため、長押し操作は行わないようにお願いします。
- サーバのローカルコンソールで確認する方法
 1. サーバの電源が ON の場合は、シャットダウンして電源を OFF にします。
 2. サーバにディスプレイとキーボードを接続します。
 3. サーバの電源を ON にします。POST 画面が表示されますので、キーボードの<F9>キーを押します。
 4. システムユーティリティ画面が表示されますので、キーボードを操作し「System Information → Firmware Information」を選択します。
 5. システムユーティリティ画面にファームウェアバージョンが表示されます。画面表示との対応は下記のとおりです。
 - 画面の「iLO Firmware」→ iLO7 ファームウェアのバージョン
 6. <ESC>キーまたはシステムユーティリティ画面の「Exit」を選択し、システムユーティリティを終了します。
注) システムユーティリティの操作方法は、メンテナンスガイドの「便利な機能」、「システムユーティリティ」を参照します。
- iLO Web インターフェースを利用して、リモートから確認する方法
 1. iLO7 の管理用ネットワークに接続できる PC 端末を準備します。
 2. PC 端末の Web ブラウザーを起動し、iLO Web インターフェースに接続し、ログインします。
 3. 左メニューの「ファームウェア & OS ソフトウェア」を選択し、「ファームウェア」を選択します。
 4. iLO Web インターフェース画面にファームウェアのバージョンが表示されます。画面表示との対応は下記のとおりです
 - 画面の「iLO7」→ iLO7 ファームウェアのバージョン
 5. Web ブラウザーを終了し、iLO Web インターフェース画面を閉じます。
注) iLO Web インターフェースの操作方法は、iLO7 ユーザーズガイドを参照します。

(参考) 監視・管理サーバのソフトウェアバージョン

本モデルを他の管理 PC(サーバでも代替可)で管理する場合、管理 PC の管理ソフトウェアが本モデルを管理できるバージョンか(本モデルを管理対象としてサポートしているか)確認してください。ESMPRO/ServerManager を利用する場合、管理 PC の ESMPRO/ServerManager をアップデートしなければならない場合があります。下記の Web サイトから最新版をダウンロードし、インストールしてください。

ESMPRO/ServerManager ダウンロード

<http://jpn.nec.com/esmsm/download.html>

⇒ESMPRO/ServerManager Ver.7(Windows)

⇒ESMPRO/ServerManager Ver.6(Windows)